

『総合的な学習の時間』 福祉体験活動 PART2

◆ 車椅子体験学習 ◆



初めに講師の先生方から、車いすの各部の名称やその役割、そして運転の仕方、介助のポイントについてご指導いただきました。



体育館から校舎までは、目を閉じて車いすに乗っています。介助者の温かい声かけが大切となります。



渡り廊下くらいの段差でも上るのは大変そうです。後ろと横の介助者の呼吸も大切ですね。



ここが一番の難所でした。前のタイヤが上がるまで、乗り役は45度以上の角度になります。少しの角度でも怖く感じてしまいます。

スロープを渡り、校舎へ上がります。かなり怖かったですね。介助者はどんなところを移動しているか声をかけてあげましたか？



最後に、24時間テレビチャリティから寄贈された福祉用車両に乗せていただきました。



乗り役そしてリモコンの操作も体験させていただきました。政則くん、傘係ありがとうございます。

◆ 高齢者疑似体験 ◆



高齢者疑似体験の前に老化による身体の変化についてお話をいただきました。



右半身が使えない状態で階段の上り下りをしています。かなり難しいようです。介助者も慎重にサポートしています。



白内障のように見える特殊メガネを付けて、何の絵か、何色かなど、どのように見えるのかを体験しています。



ジュースのキャップを開け、コップについて飲むという体験をしています。なかなか開かないようです。



包んであるあめやチョコレートを自分で包みを開けて食べる体験をしました。上手く食べられましたか？



エプロンの着脱をしています。思うように着れずに介助してもらっています。

高齢者や障がいのある人への介助のポイントは、「安全第一」で本人の意思を尊重し一方通行にならないよう、乗り手とのコミュニケーションを大切にすることです。今回の体験で生徒たちは、高齢者の大変さを実感したことと思います。

この介助のポイントは、高齢者や障がいのある人にだけではなく、学校生活の中でも同じ事ではないでしょうか？友達の立場に立って物事を考えて行動する。友達が嫌がるようなことを言ったり、したりしない。『思いやりを持って生活する』このことをみんなで実践いけば、必ず楽しく充実した生活が送れると思います。そんな1年生であってほしいと考えています。